

「価格交渉は堂々と」 取引先300社へ価格交渉

会社概要 共同技研化学株式会社

設立：1979年10月

所在地：埼玉県所沢市南永井940番地

従業員数：80名

<https://www.kgk-tape.co.jp/>



背景・きっかけなど／原材料等高騰で収益悪化

埼玉県に本社、都内に営業拠点、群馬県富岡市に主力工場を持つ同社は、多機能性フィルムや建築用、工業用の両面テープ等を製造しています。製品は住宅建材や自動車、スマートフォンや音響機器など、あらゆる分野で使われています。

時代のトレンドを掴み、差別化された品揃えを支えるのは開発力です。同社の研究開発は現会長の濱野尚吉氏が担っています。同氏は主力商品の建材サッシ用防水テープや分子勾配膜両面テープを始め、多くの製品を世に送り出し、2006年から3年連続で日本発明大賞を受賞するなど、技術力で高い評価を受けています。

同社が開発した建材サッシ用防水テープは止水性に優れ、国内同製品の7割のシェアを誇ります。また自動車のEV化が進む中、分子勾配膜両面テープはEVのセンサーや部品の固定に採用されており、更なる展開が期待されています。

安全・品質の追求と、差別化された製品により収益を得てきましたが、原材料高騰に伴い、収益を圧迫するようになりました。

会社の成り立ち／価格交渉の重要性

「価格交渉はとても大事。独立前の勤務先は汎用製品が主でした。いわば価格転嫁ができなかったため、会社更生法を申請することになったともいえます。」と濱野会長は振り返りました。

当時の会社では、再建途上の選択と集中により両面接着テープ事業がなくなったため、同氏は自ら製造販売する企業を創業しました。

社名の由来は、「共に同じく幸せになろう」を意味します。

だからこそ、現在の状況に対して「今は競争の時代ではなく共同の時代。仕入先に無理を言うわけにもいかない、社会でお金を回さないといけない局面だからこそ、価格交渉は恥ずかしいことではない。」と考えています。



濱野尚吉代表取締役会長



本社工場内

<ポイント>

- 経営者自ら従業員に発信し価格交渉を後押し。平均10%の価格転嫁に成功
- 取引先300社を分析し、カテゴリ別に価格交渉のアクションプランを策定
- 転嫁分は従業員の賃上げへ。基本給は4%、賞与は6%UPを実現

「堂々と価格交渉しよう」のメッセージが従業員を後押し

「従業員の多くは値下げの時代を生きてきました。だから経営者が従業員の背を押さないといけない。堂々と価格交渉をするようにと、従業員へ伝えました。」（濱野会長）

最初の価格改定のお願いは2021年11月、2回目は2022年8月、3回目は2023年5月と、原材料やエネルギーの値上げに合わせて、取引先に相談しました。

同社では、日頃から月次試算表を従業員に開示しているほか、価格交渉のため取引先へも月次試算表を見せています。「数字を見せることで、社員の生活の維持、取引先への安定供給のためにも、価格を改定いただけないと、うちの会社は続けられないんだということを理解してもらえます。」（濱野会長）

役員である小池常務、稲垣営業部長を中心に価格転嫁活動を推進、5名の少数精鋭の営業担当者が取引先約300社へ地道な交渉を行いました。その結果、ほぼ全ての取引先に対応いただき、平均10%の価格転嫁が実現できました。取引先によっては価格転嫁だけでなく、仕様変更での収益改善の成果が出た事例もあります。

転嫁した分で従業員の賃上げを実施

物価上昇の度合いからも、賃上げをしないと従業員の生活が成り立たないと考えた経営陣は、基本給は4%、賞与は6%の賃上げを行いました。

アドバイスを受け交渉マトリクス作成、更なる製造原価の見える化へ

県から派遣された専門家のサポートを受け、300社の取引先ごとに売上高や値上げ率の目標と実績等をまとめた一覧を作成し、価格転嫁の状況を見える化しました。

『理解度が高く交渉の成果が上がった取引先』、『取引高が大きいが、交渉の余地がある取引先』、『価格転嫁への理解度を得ているため、現在の取引高は大きくないが、これから伸ばしていく顧客』など4つに分類し、カテゴリ別にアクションプランを実施しました。

今後は研究開発費等のコストを配賦した原価に応じて販売価格を設定できるようにするほか、原価の意識を従業員に再度周知するような教育も同時に進めていく計画です。

<企業からのコメント>

原価管理や価格転嫁の効果検証を行ってきましたが、県の伴走型支援によって、モノづくりの実態を反映した管理手法や分析からの戦略立案のアドバイスを得られました。アドバイス頂いた現場や製品群に即した原価、収益の「見える化」を進めることで、技術で社会に貢献する企業理念に磨きをかけていきます。（小林営業本部長）



小林営業本部長